

はじめまして!
ドクター松崎の
For Your
Health Vol.2

乳幼児の鼻づまり



松崎耳鼻咽喉科
松崎圭治院長

小さな子どもの鼻づまりは、無意識

でいると大人は気付きにくいものです。乳幼児の時期に鼻がつまって口呼吸になると、脳や身体の発育にも深刻な弊害をもたらす場合もあるとか。今月も豊田市の山之手の松崎耳鼻咽喉科の松崎圭治院長にお話をお聞きしました。

子どもの様子を

日ごろからよく

観察しましょう

乳幼児は、「鼻がつまる。」と自分で訴えられるません。鼻水が鼻の中で固まっていたり、口をいつも開けていたり、睡眠中に口呼吸をしたり、いびきをかいたりして

いることから鼻づまりに気付くことがあります。また鼻水があると鼻の奥がすっきりしないため「すすり」と鼻すすりをしたりします。これも鼻が奥ですっきりしていないサインです。またお子さんが、いびきをかいている時に、

胸の動きを見てくください。胸がへこんでいるようでしたらこれも鼻呼吸障害からの症状です。また息が止まっていなくても見ることが大切です。いびきが長期間続く場合は早目に受診し相談しましょう。

鼻づまりの主な原因

乳幼児の鼻づまりをきたす主な病気としてはアレルギー性鼻炎、急性、慢性的副鼻腔炎、アデノイド増殖症などがあります。アレルギー性鼻炎では水のような水様性の鼻水、副鼻腔炎では、粘っこく黄色や黄緑色をした鼻水が出て、鼻が臭くにおったりします。アデノイドとは鼻の奥の上咽頭と呼ばれる場所に存在するリンパ組織で咽頭扁桃

ともいいます。大きさは個人差があり小学校低学年頃までは大きくなり、その後次第に小さくなっていくと言われていきます。アデノイドが大きいと鼻で呼吸がしづらくなり、中耳炎やいびきの原因となります。またまれに鼻の奥にポリープができてつまることもあります。鼻づまりが長引くと普段から口呼吸になるため注意力が散漫になったり、情緒が不安定になったりするとはいわれています。また十分な睡眠がとれないため、落ち着かない、怒りっぽくなる、さらには思考力が低下するなど日常生活や学業にネガティブな影響を与えるというリスクもあります。



みみ・はな・のどのことなら
松崎耳鼻咽喉科

院長 松崎圭治

豊田市山之手2-91

TEL 0565-28-7250

豊田スイミングスクール山之手校よりスグ

■診療時間

午前 8:30～12:00

午後 3:30～7:00

(午前受付時間 11:30まで 午後 6:30まで)

■休診日 水曜午後・土曜午後・日曜・祝日

■診療内容

成人、小児の耳鼻咽喉科疾患全般

(主に中耳炎、副鼻腔炎、花粉症、アレルギー性鼻炎、咽頭炎、扁桃炎、めまい症などの診断、治療)

松崎耳鼻咽喉科

検索

事務スタッフ募集中